

けいがん

子宮頸癌ワクチン勧奨再開について

(2022 2/12)

厚労省は、子宮頸癌ワクチン（以下「HPV ワクチン」）に関係を否定できない持続的な痛みが見られたことから、平成 25 年より保護者にすすめること（勧奨）を中止してきました。しかし昨年、改めて安全性が確認され有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められ、勧奨の再開が決定しました。引き続き安全性の評価、接種後の症状の診療を行う医療機関の体制強化等を行っていくこととしています。また接種の機会を逃した一定の年齢の方への公費接種も行われます。

●子宮頸癌とは

子宮下部の「子宮頸部」の癌です。20～30 代に増えており国内で毎年約 3000 人が死亡、患者数も死亡率も増加しています。

●原因

性的接触によるヒトパピローマウイルス（以下 HPV）の感染です。

●HPV ワクチンについて

下の 2 種類があり、どちらか 1 種類で 3 回接種します。

・サーバリックス

HPV の 16 型、18 型の感染を防ぎます。

・ガーダシル

16 型、18 型に加え尖圭コンジローマの原因 6 型、11 型を防ぎます。

・対象年齢

小学校 6 年生から高校 1 年生に相当する年齢（標準的には中学 1 年生）

・接種機会を逃した場合の公費接種対象者

平成 9 年 4 月 2 日から平成 18 年 4 月 1 日生まれの女性

医療法人 KLC ファミリーランドクリニック南大高